令和6年度 事業報告・収支決算書

豊橋市岩田総合球技場等

豊橋スポーツパートナーズ

(1) 管理施設の利用状況

① 利用者数

利用者数	令和6年度
施設利用者数	165,339(施設開放等含む)
(内有料施設利用者数)	141,389(岩田+万場)

(内 訳)

施設区分	利用区分	利用人数	利用日数
市民球場	昼	56,382	143
	内ナイター	(17,372)	
市民球技場	昼	23,159	95
市民庭球場	早朝・昼	44,005	298
	内ナイター	(12,951)	
市民クラブハウス	昼・夜	4,115	167
万場調整池庭球場	早朝・昼	13,661	283
開館日数			309

② サービス向上の取組

◆ 参加申込のノンストップサービス

スポーツ教室に係る参加申込を窓口申請に加え、スマートフォン・パソコンによる電子申請を可能とし、窓口での現金支払いに加え、クレジット決済としており、長期継続(複数月)の申請を可能とするノンストップサービス化の充実を図りました。

◆ 広報・情報提供

ホームページ・SNS・フリーペーパー・地域スポーツ誌に加え、地元FM局によるマンスリー番組を開設するなど、積極的な広報活動の展開を図り、利用者の方へ情報発信を充実しました。

◆ 開館時間の拡大

市民庭球場、万場調整池庭球場の貸出時間帯に早朝枠(午前7時から午前9時)を設け、利用時間を拡大しました。

◆ 利用者満足度調査

利用者の満足度を把握し、業務・施設改善を図るため、年間を通し利用者アンケートを実施しました。

満足度	目標値 (満足)	令和6年度		
		満足	どちらとも	不満
施設利用申請方法の利便性	90%以上	53%	42%	5%
施設利用の利便性	90%以上	69%	24%	7%
職員の対応について	90%以上	72%	27%	1%

(評価方法)

利用申請の利便性を「とても便利」「便利」「どちらともいえない」「不便」「とても不便」の5段階に分けて聞き取り、「とても便利」「便利」を『満足』、「どちらともいえない」を『どちらとも』、「不便」「とても不便」を『不満』に分類し評価したもので、施設利用の利便性、職員の対応についても同様に調査を実施しました。

(アンケート調査回答者数)

204件

◆ 今後の取組

アンケート調査結果を踏まえ、引き続き利用者満足度を向上させ、利用者数の拡大を図りました。

③利用者要望(意見)の対応

施設内駐車場の拡張、駐車可能台数を増やして欲しいとの要望に対し、大会関係者と共に公共交通機関の利用、他の公共施設駐車場への利用を促しました。

さらに、当協会ホームページにおいて、駐車場満車予測情報を掲載し自家用車による来場を控えるよう要請をしました。

④苦情・トラブルの対応

毎月、当協会職員によるスタッフ会議を開催し、課題の洗い出し・問題の解決方法など情報の共有化により、職員のスキルを向上させることで、苦情・トラブルのゼロ化を目指し、その発生を抑制しました。

なお、苦情・要望に対しては丁寧かつ迅速に対応しました。

(2)管理業務の実施状況

①自主事業の実施状況

事業名	予定回数 (回/年)	募集人数 (人/回)	実施回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
芝生で運動遊び(こどもの習い事)	6	60	6	181	
豊橋キャッチボールフェスティバル	1	320	1	350	
野球場大開放デー	13	40	5	89	
プロテニスプレーヤーによるテニス指導イベント	2	152	2	53	
スポーツ教室(テニス ジュニア)	2	40	1	60	
スポーツ教室(テニス 一般)	4	40	4	64	
スポーツ教室(テニス ナイター)	2	40	2	66	
スポーツ教室(ラグビー 小中生)	1	170	1	60	
有名選手が やってくる	トヨタ自動車硬式野球部	1	230	1	230
	デンソーソフトボール部	1	75	1	75
	名古屋オーシャンズ	1	110	1	110
ベースボール遊び	1	400	1	403	
テニスの日	1	78	1	56	
星空ヨガ	20	100	14	358	
ズンバ	20	100	6	334	
アルティメット交流会	4	40	4	101	
スポーツバイキング(こどもの習い事)	12	20	7	49	
ベースボールクリニック(藤井淳史)	1	50	1	64	
ウォーキングフットボール	1	20	3	49	
計					

注：予定回数と実施回数の差は『雨天中止』等による

②その他事業の実施状況

事業区分	事業名(開催名)
子供のスポーツ機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生で運動あそび開催 ・ジュニアテニス教室の開催 ・キャッチボールフェスティバルの開催
働く世代の健康・体づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイターテニス教室の開催 ・大人向きテニス教室の開催
市民参加型イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・とよはしスポーツ博(参画) ・とよはしスポーツフェス 2024 の開催
地域スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ祭
ハイレベルスポーツ大会等の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球公式戦開催 ・プロ野球ウエスタンリーグ ・J Dリーグ公式戦開催 ・なでしこリーグ公式戦開催
トップアスリート交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車硬式野球部の指導会開催 ・デンソーソフトボールチームの指導会開催 ・名古屋オーシャンズ技術指導講習会の開催
スポーツボランティアの参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催
スポーツ指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催
地域スポーツを支える人材づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催
競技者・競技団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催

③レクリエーション器具の貸出状況

月	貸出団体数	利用者数(人)	貸出品種(延)
4	4	160	6
5	15	1,180	41
6	22	1,120	60
7	13	1,280	25
8	12	1,440	45
9	19	2,100	58
10	33	1,650	68
11	25	3,640	111
12	6	280	30
1	9	386	17
2	14	647	38
3	6	156	10
計	178	14,039	509

(貸出器具の例)

インディアカ、カローリング、グランドゴルフ、スカットゲーム、ソフトテニスなど

④維持管理等業務

◆グラウンド整備等維持管理

プレイヤーズファースト、プレイングクオリティの向上を念頭に、各大会主催者(利用者)などと事前に協議・調整し、利用者の意向を尊重したグラウンド等の整備を実施しました。

各マニュアル、マネジメントプランに則り、利用者の『安全・安心・快適』を念頭に、日常点検を実施する中で、施設の状態を細かく把握した施設の管理を実施しました。

◆公園・駐車場等維持管理

施設の特長でもある公園エリア・スポーツ観覧エリアについては、除草・植栽管理、清掃管理を中心に清潔感・快適性を維持し、利用者の方、スポーツ観覧をされる方に満足して頂けるよう施設の管理を実施しました。

⑤職員研修

◆業務改善ミーティング

利用者サービスの向上を目的に、業務改善ミーティングを定期的に行いました。

◆実務研修

新規採用職員研修、指定管理施設内でのOJT研修により職員個々のスキルを向上させ、利用者の負託に応えることができました。

⑥緊急時対応

◆危機管理

防災(地震・消防)訓練、熱中症対策に係る利用者への啓発などを実施しました。

また、気象庁の定める特別警報等・警報・注意報を常に把握し、利用者の安全を図るための施設閉鎖などについて再確認を行いました。

その結果、6月のゲリラ豪雨に対しては、利用者の帰路を踏まえた影響を予測する中で施設を閉鎖し、利用者の安全を確保することができました。

(3)管理経費

①管理経費

収入の部(1)		支出の部(2)	
指定管理料	61,762千円	賃金	29,874千円
利用料金収入	15,259千円	光熱水費	12,512千円
自主事業収入	8,072千円	修繕費	7,241千円
		委託料	20,036千円
		その他	15,430千円
計	85,093千円	計	85,093千円
収支差額(1)-(2)			0千円

②修繕内容

施設名	修繕名
市民球技場	市民球技場選手用トイレ取替(洋式)
市民球技場	市民球技場トイレブース取替(男女共)
岩田総合球技場	軽トラックエンジン載替
岩田総合球技場	自走式芝刈機カッター・ローラー取替
岩田総合球技場	消防設備修繕
市民球技場	放送設備取替修繕

③業務委託内容

施設名	業務委託名
岩田総合球技場	自家用電気工作物保安管理業務委託
岩田総合球技場	消防用設備保守点検業務委託
市民球場	非常用自家発電装置負荷試験業務委託
市民球場	受水槽等清掃業務委託
市民球場	公共建築物定期点検業務委託
万場調整池庭球場	浄化槽等清掃業務委託

(4) 指定管理者の自己評価

指定管理業務期間の折り返し年度となった令和6年度は、管理運営の基本理念であるスポーツを「する」・「みる」・「ささえる」をスタッフ全員の合言葉に、これまで以上に充実した事業を展開することができました。

具体的には、「する」については、ライフステージに応じた、そして、管理施設の特長を生かしたスポーツ教室等を開催することができました。

「みる」については、「プロ野球・Jリーグ・なでしこリーグ」の公式戦開催運営をサポートし、数多くの観覧者の方に満足して頂くことができました。

「ささえる」については、トヨタ自動車硬式野球部・デンソーソフトボール部・名古屋オーシャンズ等有名スポーツ選手による技術指導講習会等を開催し、参加者のレベルアップに寄与することができました。

また、これに加え「スポーツボランティア講習会」・「地域スポーツを支える人材育成講習会」等を開催しました。

一方で施設の老朽化が進んでいる中で、利用の支障とならないよう適切な施設管理・施設補修に努めることで利用者の安心・安全を維持することができました。

これらの結果、14万人以上の利用者を確保することができましたが、次年度は新たな事業展開を含め事業の拡大を図ると共に、利用者の満足度向上を念頭に適切な管理を遂行してまいります。